

事務事業評価表 平成24年度

政策 明日につながる産業の振興
 施策 商業の振興
 基本事業 商店街の活性化

事業名 **地域経済活性化支援事業**

[0995]

部名	経済部	事業開始年度	平成22年度	実施計画事業認定	非対象
課名	商工労働課	事業終了年度	平成23年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	(誰、何に対して事業を行うのか) 江別市民
意図	(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) 住宅リフォーム 新築等裾野の広い住宅関連産業の需要を掘り起こし、市内建設業の活性化を図る。
	(事務事業の内容、やり方、手段) 事業実施主体である江別商工会議所に対し、10%プレミアム分を補助金交付する。
	手段

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度当初
対象指標1	世帯数	世帯数		53,518	53,923	
対象指標2						
活動指標1	補助金額	千円		0	40,000	
活動指標2						
成果指標1	総工事費	千円		0	1,011,144	
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	0	467	40,000	0
正職員人件費 (B)		千円	0	0	803	0
総事業費 (A) + (B)		千円	0	467	40,803	0

費用内訳	
23年度	負担金 補助及び交付金 40,000千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始背景	住宅リフォーム・新築等裾野の広い住宅関連産業の需要を掘り起こし、市内建設業の活性化を図るとともに、市民生活の住宅環境改善の促進にも寄与することを目的として事業を開始した。	事業を取り巻く環境変化	公共工事の減少や景気低迷の影響などにより市内の建設業界は大変厳しい経営環境にある。
--------	---	-------------	---

23年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業
妥当である
妥当性が低い

理由・
根拠は？

市内建設業の活性化と市民生活の住宅環境改善を図る事業であるため、妥当である。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい
貢献度ふつう
貢献度小さい
基礎的事務事業

理由・
根拠は？

市内建設業の活性化、市民生活の住宅環境改善の促進に寄与する事業であるため、貢献度は大きい。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由、でていない理由は何ですか？

あがっている
どちらかといえばあがっている
あがらない

理由・
根拠は？

プレミアム額（市補助）4000万円に対し、工事受注額が10億円を超えたことから少ない経費で大きな成果が上がったと言える。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大
成果向上余地 中
成果向上余地 小・なし

理由・
根拠は？

利用業者を市内に限定したことにより、市内業者の評価と認知度が上がり、今後の受注機会の増加が期待できる。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

ある
ない

理由・
根拠は？

プレミアム10%分の補助金以外の経費については、必要最低限であるため、これ以上コスト減はできない。